

2. 減災対策協議会に関する取組

「荒川下流域水防災タイムライン(流域タイムライン)」の取組推進

～令和5年度タイムライン運用ふり返し～

令和6年3月7日

令和5年度タイムライン運用ふり返り

■ 運用実績

➤ 令和5年度に発生した大雨等による対応(R6.3.4時点)でのタイムライン運用は以下の通り。(タイムライン適用4回)

項	期間	災害名	気象概況等	適用有無	備考
1	6/1~6/2	台風第2号	・ 6/2~3に最大20~30mm/Hの雨 (6/1~3の累加は、東京260mm、熊谷102mm) ・ 東京、埼玉に洪水警報、大雨警報 〈床上浸水、床下浸水等多数発生〉	無	・ TLの適用なし、大雨への注意喚起のメール周知のみ
2	6/9~6/13	台風第3号等 (活発な梅雨前線含)	・ 6/9~10、6/12に最大5~6mm/Hの雨 (累加は、東京58mm、熊谷32mm) ・ 大雨・洪水注意報・警報なし	有	危機感共有WEB会議(2回)
3	8/4~8/10	台風第6号	・ 8/8~9に最大15mm/Hの雨 (累加は、東京15mm、熊谷38mm) ・ 埼玉に大雨注意報	有	危機感共有WEB会議(3回)
4	8/9~8/17	台風第7号	・ 8/13~1に最大25mmの雨 (累加は、東京100mm、熊谷102mm) ・ 東京、埼玉に大雨・洪水注意報	有	危機感共有WEB会議(3回)
5	9/5~9/9	台風第13号 (熱帯低気圧)	・ 9/8に最大10~20mm/H (累加は、東京109mm、熊谷61mm)の大雨 ・ 東京、埼玉に洪水警報、埼玉に大雨警報	有	危機感共有WEB会議(3回)

令和5年度タイムライン運用ふり返り

■適用理由

項	期間	災害名	適用有無	適用理由等
1	6/1~6/2	台風第2号	無	・適用基準(台風進路等や早期注意情報)を満たさないため
2	6/9~6/13	台風第3号等 (活発な梅雨前線含)	有	・関係機関や住民に早期の対応を促すため※
3	8/4~8/10	台風第6号	有	・関係機関や住民に早期の対応を促すため※
4	8/9~8/17	台風第7号	有	・関係機関や住民に早期の対応を促すため※
5	9/5~9/9	台風第13号 (熱帯低気圧)	有	・関係機関や住民に早期の対応を促すため※

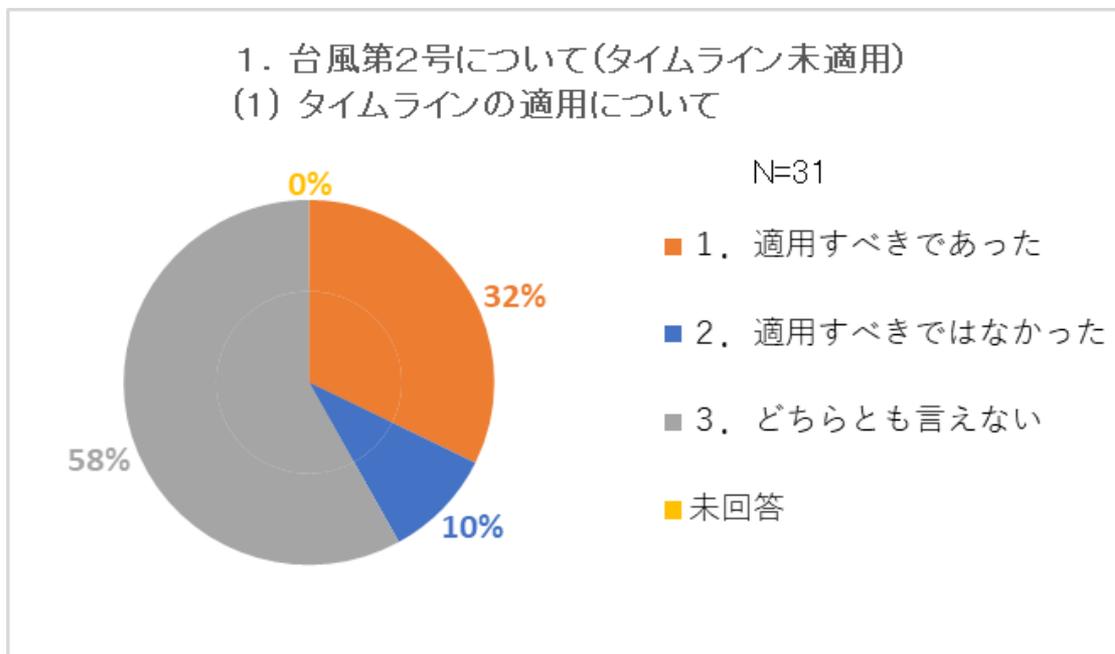
※の適用は、令和5年度から試行的に運用

⇒大雨に対する早期の備えを促すとともに「タイムライン適用なし=安全」という誤った認識を防ぐために導入

令和5年度タイムライン運用ふり返り

■ タイムライン適用に関するアンケート結果(台風第2号)

●【台風第2号】タイムラインの適用について



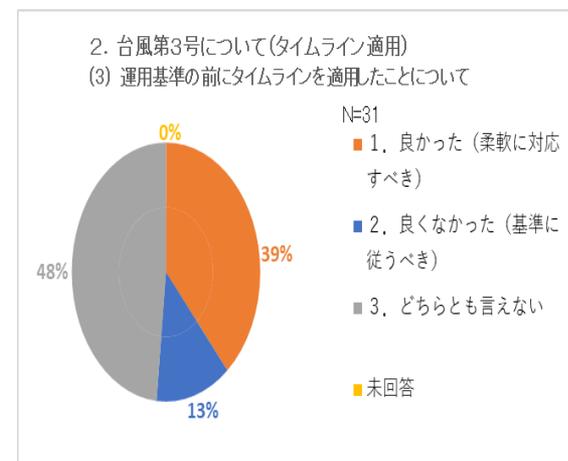
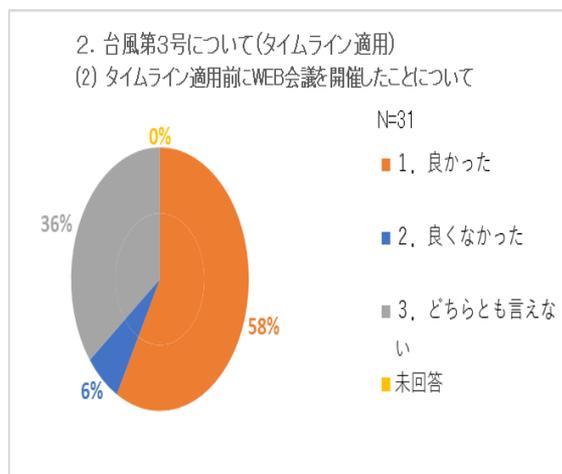
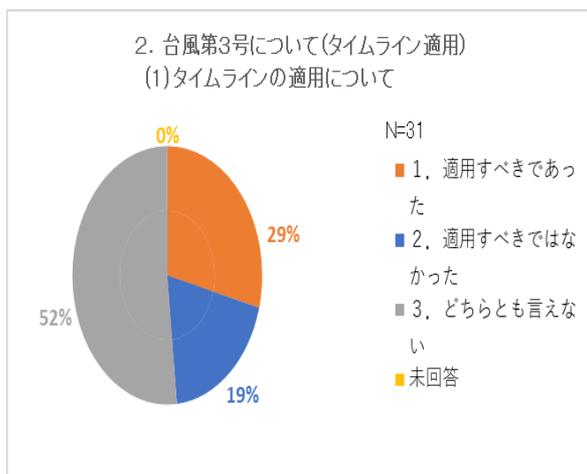
●「タイムライン適用すべき」との意見が、「適用すべきでない」を上回った

⇒流域で大雨の影響が予想される場合は、早期のタイムライン適用が求められている

令和5年度タイムライン運用ふり返り

■ タイムライン適用に関するアンケート結果(台風第3号)

②【台風第3号】タイムラインの適用、運用基準前の危機感共有WEB会議、運用基準前のタイムライン適用について

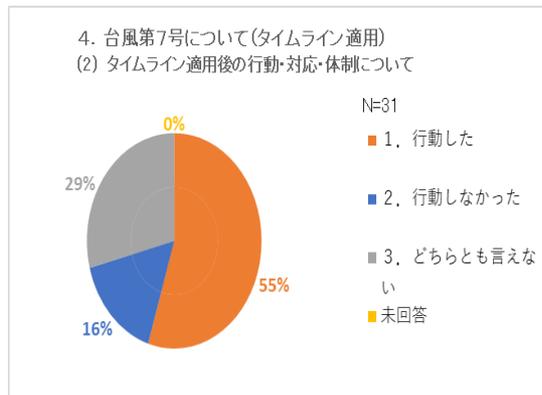
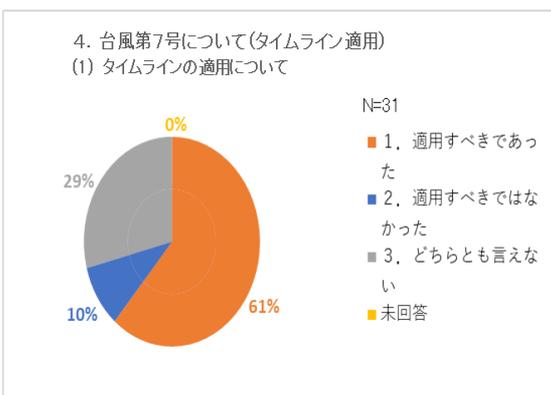
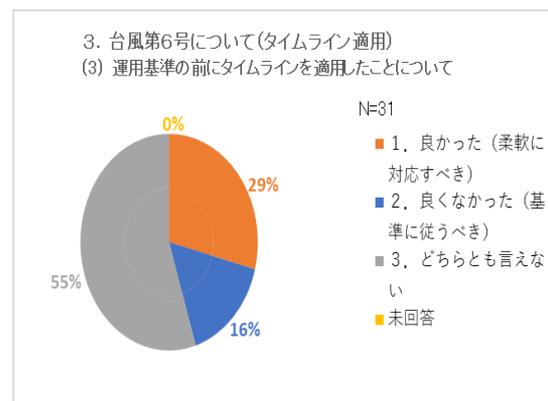
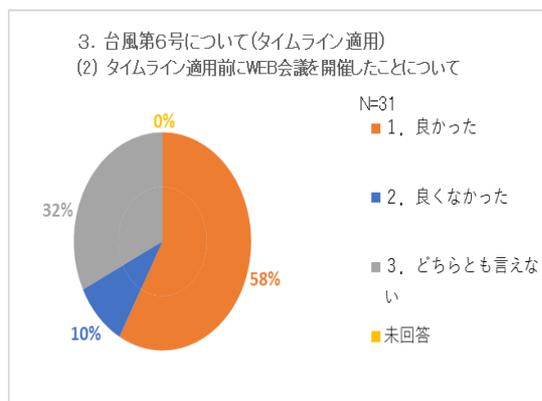
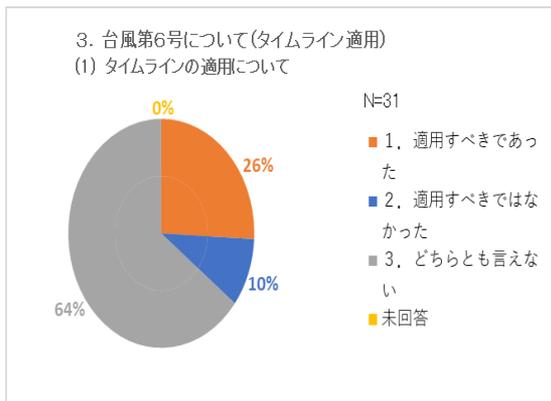


- 「タイムライン適用すべき」「運用基準前でのタイムライン適用、危機感共有WEB会議の開催は良かった」との意見が多かった

令和5年度タイムライン運用ふり返り

■ タイムライン適用に関するアンケート結果(台風第6、7号)

③(参考)【台風第6、7号】タイムラインの適用、運用基準前の危機感共有WEB会議、運用基準前のタイムライン適用について



● 台風第3号と回答傾向は変わらない
⇒ 早期のタイムライン適用や危機感共有WEB会議が求められる

ふり返りを踏まえた令和6年度の対応について

■令和6年度に向けて

荒川下流域でのタイムライン運用にあたっては、令和5年度に引き続き、先を見越した早め早めの防災行動を促すため、積極的なタイムラインの運用を図る。



「流域に大雨の影響の可能性が少しでもある場合」には、柔軟かつ積極的なタイムラインの適用

※台風から遠く離れた場所でも、台風に向かって南から湿った空気が流入すると広範囲で大雨が降ることがある。（平成27年 台風18号(鬼怒川決壊)）

